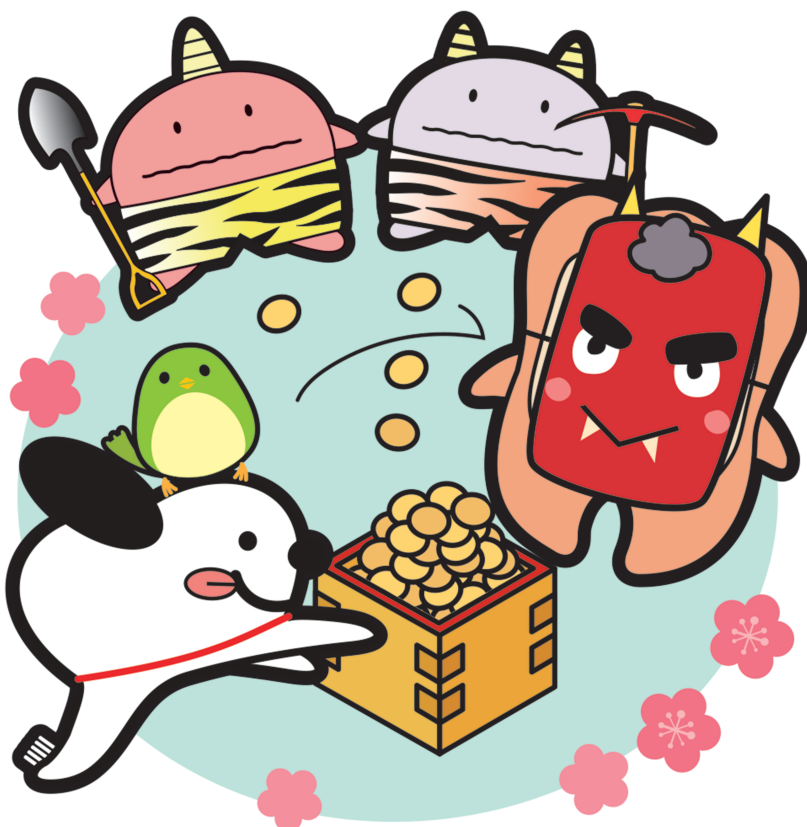


岡歯会報



HEADLINE:

巻 頭 言

「語り合おう！仲間とともに」

一般社団法人 岡山県歯科医師会 監事 松 三 洋 夫

〈p 1〉

県 歯 報 告 地 区 ・ 本 会 連 絡 協 議 会

〈p 3〉

理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

〈p 6〉

おかやま新発見 紹介します！私の地区のとおき♡

井原歯科医師会

〈p21〉

2025

2

vol.937



一 般
社団法人 岡山県歯科医師会

目次

巻頭言 「語り合おう！仲間とともに」

…………… 一般社団法人 岡山県歯科医師会 監事 松三 洋夫	1
彰 令和6年度 岡山県学校保健会表彰	2
能登半島地震義援金のお願い	2
県歯報告 地区・本会連絡協議会	3
理事会ダイジェスト	6
ホームページインデックス	9
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (246)	10
1月の歯科界トピックス	11
社会保険部 第17回 社会保険部検討委員会報告	12
学術部 特別寄稿 「岡山県の歯の神様, 仏様探訪」	13
日歯生涯研修セミナー	14
研修会のお知らせ 令和6年度 生涯学習公開セミナー (公益社団法人 日本補綴歯科学会・一般社団法人 岡山県歯科医師会 共催)	16
公衆衛生部 令和6年度岡山県歯科保健優良校(園)表彰並びに岡山県歯科保健図画ポスターコンクール表彰式	18
医療管理部 医療管理ニュース Vol.100 《どうしよう!? 外国人旅行者が受付に!!!》	20
おかやま新発見 紹介します! 私の地区のとおき♡ 井原歯科医師会	21
地区歯科医師会だより 勝英歯科医師会 第17回 みまさか子どもフェスティバル	22
津山歯科医師会 令和7年新年互礼会	23
吉備歯科医師会 新年会	24
リレー随筆 「ゲゲゲのゲ～」 樋口 譲 (岡山市歯科医師会)	25
学院のぺえじ 65期3年生と看護学生との「多職種連携実習」	26
65期3年生 臨床実習を終えて	27
岡山歯科技工専門学院の先生に講義に来ていただきました	27
66期2年生 岡山大学病院実習	27
新入会員紹介	28
こちら編集室	28
訃報	29
会員異動	29
2月の収納金	29
12月 会の動き	30
2月・3月 本会の予定	30
2月・3月 地区歯科医師会の予定	32

<https://www.oda8020.or.jp>

■題 字 小林 敏郎 先生

■表紙イラスト 岡山県歯科医師会イメージキャラクター「もも丸ファミリー」



「語り合おう！仲間とともに」

一般社団法人 岡山県歯科医師会

監 事 松 三 洋 夫

毎日の診療において、私たちは多くのストレスや不安、プレッシャーに晒されているのではないのでしょうか。診療や家庭、社会との関わりの中で心の負担が増し、心の健康が身体と同じくらい重要であることが認識されるようになってきました。

皆さんはどうやってストレスを発散されていますか。運動したり。趣味に没頭したり。旅行や外出したり。ストレス発散の方法はいくつかありますが私のお勧めは人と話をすることです。私が同窓会のお世話をさせていただいた時のスローガンは「語り合おう！仲間とともに」でした。同業者、気心の知れた仲間と話をすれば何か得るものがあり、愚痴を聞いてもらう事によって気分が晴れると思います。

私は今まで支部、県歯、同窓会関係の集まり、宴会等にできるだけ参加してきました。それにより多くの先生方と知り合う機会を得る事ができました。また、多くの知識を得る事ができました。出ていかなければ、参加しなければ得ることができなかった愚痴を聞いてくれる友人、色々な経験をしてきた人の知識を得ることはできなかったと思います。遊び友達も多くできました。本当に感謝しています。町で偶然会った先生とも「元気？ゴルフ行ってる？」とか、少しの会話でも気持ちが良いものです。以前ある高齢の先生が「周りの同年代の先生が徐々に亡くなってきて遊び相手が減ってきた。今のうちに若い先生の友人を作っておいた方が良い」とおっしゃっておられました。確かにそう思います。皆さんでできるだけ色々な会に参加して交流を深められてはいかがでしょうか。

県歯監事に就任し1年7か月経過しました。理事会にもお邪魔させていただきました。西岡会長をはじめ県歯執行部の方々、小見山会長をはじめ連盟執行部の方々、我々の為に一生懸命頑張ってください。感謝の気持ちで日々を過ごしていければと思います。7月には大事な参議院選挙があります。急激な医療DX化が進んで来ています。国の強固なしほりに対抗する為、我々の声を中央へ届けるためにも政治力は大事です。危機感を持って取り組まないと将来が危ぶまれます。岡山県歯科医師会会員の力に期待します。

令和6年度 岡山県学校保健会表彰

倉敷歯科医師会 藤原匡人先生

津山歯科医師会 杉山重信先生

都窪歯科医師会 真鍋るい子先生

児島歯科医師会 中塚康史先生

(被表彰者名簿順)

令和7年1月16日開催の「令和6年度岡山県学校保健研修会」に於いて、
上記4名の先生方が長年に亘る学校歯科保健のご功績に対し栄誉を受けられました。

この度のご受賞を衷心よりお慶び申し上げます。

能登半島地震義援金のお願い

診療所の受付に設置いただいている募金箱の義援金の第1回目締め切り
は2月末となっております。

振込用紙の利用または県歯へ持参していただき、温かいご支援の気持ちを被災地へ届けたいと思います。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

地区・本会連絡協議会

日 時 令和6年12月14日(土) 午後5時

場 所 岡山県歯科医師会館 2階 もも丸ホール



1. 会長挨拶（要旨）

私からは3点お伝え致します。1点目は6月の代議員会で諮問機関として「本会と連盟のあり方」検討委員会の設置をお願いし、大変闊達な実りある議論を重ねて頂きました。11月21日に答申を受け、今後は「本会・連盟一体化タスクフォース」を編成し、答申頂いた貴重なご意見を形にすべく鋭意取り組んで参ります。

2点目は日学歯です。学校歯科医の担う役割は歯科保健教育、歯科保健管理、歯科保健に関する組織管理の3つにまたがっています。それぞれの領域で果たすべき責務をしっかりと認識し、自覚と使命感を持って臨んで頂きたい。そのためにも学校歯科医・協力医の先生方には是非とも日学歯に入会し共に研鑽して頂きたい。

3点目は次期参議院選挙です。今の歯科界は停滞感のある空気に覆われています。風穴を開けられるかどうか、次期参議院選挙は分水嶺になります。得票数こそが組織力を示す重要な指標です。ご家族、スタッフ等、一人でも多くの皆様へ支援の輪を広げて頂きたい。

任期も残り半年。「何をおいても優先すべきは会員益と会員の矜持を守り抜くこと」この思いを貫くべく、最後まで精進して参ります。



2. 報 告

(1) 会務報告について

・能登半島地震の義援金に関して

会員からの義援金を届け、日赤有功章ということで感謝状をいただいた。

診療所の受付に設置いただいている募金箱の義援金は、2月末を締め切りとしているので、是非ともご協力をお願いしたい。

・本会会館の使用に関して

2025年1月から、月曜日の使用をお控えいただくようお願いしたい。

- ・ 歯科通信について

地区会長にもお読みいただきたくため、来週から報告させていただく。

- ・ 本会の機構改革について

3月の代議員会で協議を出し、6月の代議員会で議決をいただきたく進めていきたい。（南専務理事）

【総務部調査事業部会】

- ・ 令和5年度地方創生臨時交付金調査に関して

各市町村ごとに隔たりがあること、また自治体と折衝しないと交付されないため、各地区においての折衝が必要である。（久門田理事）

【公衆衛生部】

- ・ すごいよみんなの歯について

次年度から、ブランチプロジェクトでご利用いただきたい場合は、申し込みの段階でその旨をお伝えいただければ皆様へ配布するよう準備する予定。（土肥理事）

【社会保険部】

- ・ 歯科診療所への支援金について

令和7年2月末までにベースアップ評価料を算定している医療機関を対象に18万円の支援が予定されている。今後もこのような支援の実施が予想されるため、この機会にベースアップ評価料の算定を推進していく予定である。ご自身での届出が困難な先生を対象にした第2回の相談会も予定している。（佐伯理事）

(2) 地区歯科医師会からの報告について

(3) その他

【全国歯科医師国民健康保険組合岡山県支部】

- ・ 緊急薬品について

歯科医師国保の1種組合員、高齢1種組合員には無料で配布予定。薬局の作業の都合により年内、もしくは年明けの配布となる予定。歯科医師国保に加入していない方へは、例年通り斡旋を行う。

- ・ 歯科医師国保の事務所について

2025年1月から土曜日は閉所とさせていただく。

【選挙管理委員会】

- ・ 次期会長予備選挙について

投票日は2025年5月11日(日)に決定。立合人として各地区一人のご協力をお願いしたい。（南専務理事）

3. 協 議

(1) 事業継続計画（BCP）について

大規模災害時事業継続計画（案）が概ね完成している。3月代議員会に提出して、予算が通れば実行していく予定（南専務理事）

(2) 日本学校歯科医会会員増強について

学校歯科医の先生、協力医で未入会の場合は極力ご入会いただきたい。次回の代議員会では入会届を添付させていただく予定（土肥理事）

(3) 地区歯科医師会からの協議事項について

質問：都窪歯科医師会 山本会長

理事の業務と理事手当について

今後の会の運営の安定化の参考にしたく、差し支えない範囲で年会費、理事の手当の有無・金額等、他地区の状況を教えていただきたい。

回答：議長 小見山副会長

総務部で調査を行うこととするので、各地区ご協力の程お願いしたい。

質問：吉備歯科医師会 水川会長

一般会員への執務手当を出しているか？また今後出すに当たってどこから予算を捻出するかについてお聞きしたい。特別会計は慶弔費以外には使ってはいけないと税理士から指導いただいているが、どのようにされているか？

入会金がいくらか、入会金を特別会計を設けているのか、特別会計と負担金という項目に分けているのか、調査いただけるか？

回答：南専務理事

それぞれの税理士ごとの解釈があるので、詳しいことはわかりかねるが、特別会計のお金を本会計の方へ取り入れることは問題ないのではないかと理解している。

回答：議長 小見山副会長

入会金等に関する調査は持ち帰らせていただく。それぞれの地区の事情もあるので、可能な限りの協力をする。

(4) その他

4. その他

現在直面している歯科界の課題を解決するため、次期参議院選挙へ向けてのさらなるご協力をお願いしたい。ひがなつみ先生のご都合により3月29日、3月30日いずれかの日にデンタルミーティングを予定しており、決まり次第改めて連絡をする。
(連盟 野崎連盟副会長)

質問：新見支部 森下会長

歯科技工士が歯科衛生士と同じように患者の口腔内に触れても良いという議論について、執行部での考えについて伺いたい。

回答：議長 小見山副会長

委員会でも、歯科衛生士の浸潤麻酔を含めて議論がなされている。しかしながら歯科衛生士会、歯科技工士会でも意見が分かれている。全国的な会議でも議論には挙がっているが大きな進展はない。

5. 閉 会 副会長 石戸 善一郎

医療DXをはじめ世の中が急激に変化していることを実感しております。この時代の波に飲み込まれることなく、良い風に乗って間違った方向に向かわないよう残りの任期を必死に運営してまいります。ここに集まれた地区の先生方とより密な関係を築き今まで以上に協力、ご支援、ご理解を賜りたいと思います。明るい未来、楽しい歯科医師会を作り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

第71回理事会

令和6年12月19日(木)

会長挨拶（要旨）

来週の臨時代議員会では「本会と連盟のあり方」検討委員会の答申を代議員の先生方と共有し、今後の対応を示したい。来年3月の臨時代議員会までの3か月を有意義に使い、今の流れを途切れさせないようにすることが重要。本会において「本会・連盟一体化タスクフォース」を立ち上げ意欲的に取り組んで参りたい。

現在マイナンバーカードの登録が75%，そのうち8割がマイナ保険証との紐付けをしている。しかしながら利用率は3割弱。当院でも勤務先変更による保険証情報の更新が2週間経っても行われず、資格確認できない事例があった。こうなることは厚労省も充分予測できたはずで、医療機関としてもマイナ保険証で確認した上での、資格過誤の返戻には同意できない。

本日のトピックス

【本会】

- ・ 地区歯科医師会における費用弁償等の調査

総務部調査事業部会で早急に調査対応。

- ・ もも丸ホールの冬季の寒さ対策

サーキュレーター等の設置を検討。費用対効果を考慮し、さまざまな解決法の提案を受けて検討中。
(南専務理事)

【公衆衛生部】

- ・ 岡山県歯科保健優良校等表彰式

もも丸ホールにて、優秀ポスター、歯科保健優良校の表彰を行った。

非常に大切な事業なので、教育長とも相談の上、プレスリリースを促したい。
(土肥理事)

【社会保険部】

- ・ 「医療分野の生産性向上・職場環境改善等による更なる賃上げ等の支援」により18万円の補助の予算がついたが、ベースアップ評価料の算定を行っている医療機関のみが補助の対象となる。現在、岡山県のベースアップ評価料届出済みの歯科医療機関は28%と届出率は低く、届出率の向上に向けて、補助金等に関する伝達、および相談会の企画を検討している。

(後藤理事)

【学院】

- ・ 従来の制服の供給が難しくなり、同じ費用でできる形に変更予定。

(黒木教務部長)

取材を終えて

(広報部 委員 皆木祥伴)

今回の理事会は、年末行事の報告から、来年に向けての検討事項など多岐にわたる議題が報告検討されました。特に直近にせまる代議員会関連の報告、検討が行われ、円滑に議事が進行するための配慮がなされていました。

理事雑感

(木村里栄副会長)

マイナンバーカードを使った資格確認や医療DX化が叫ばれる中、理事会においてもできるだけ紙資料を少なくしようと、まずはホームページを利用して次第や資料を理事が共有できるような取り組みが先月より始まっている。また、自院の窓口でも患者が「ここはPayPay使えんの？」なんて言葉を放っている。昭和30年代生まれの私にとってこのような時代の流れに取り残されず世の中を渡っていくにはそれ相当の努力が必要になる。

ただ、本日の理事会冒頭に会長が挨拶の中で話されていたことだが、勤め先が変わり保険証の資格が明らかに変わっているのにオンライン上の資格が依然として前職のままということがいまだに存在するようだ。どこでどう滞っているのか。マイナンバーの普及を目指しているなら関係機関には迅速な資格変更とマイナンバーカードへの反映を速やかに行ってほしいものである。まずはその信頼があってこそ新制度が普及していくのだと思う。

第72回理事会

令和6年12月26日(木)

会長挨拶 (要旨)

今年最後の理事会という事で、今年も1年間ありがとうございました。充実した会務運営がはかれたと思っております。最後の最後に臨時代議員会という大きな舞台が控えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日のトピックス**【本会】**

- ・ 本会と連盟のあり方

「本会と連盟のあり方」検討委員会の答申に対して、作業部会となる「本会・連盟一体化タスクフォース」を12月23日(月)付けで発足。メンバーは、本会より西岡会長・南専務理事、連盟より小見山会長・野崎副会長、各地区歯科医師会より横山会長(岡山市)・大森会長(倉敷)・平会長(津山)の7名。3月代議員会までに方向性を示したい。

(南専務理事)

- ・ 緊急薬品

緊急薬品は12月から発送を行っているが、諸事情により来年1月末までかかる見込み。

(清水常務理事)

【社会保険部】

- ・ 第1回岡山県医療費適正化推進協議会

10年間の国民医療費の分析が行われたところ毎年2%強の伸びがあり、今後、住民の健康保持と医療の効率的な提供が推奨されている。全国的に考えるより岡山県に特化した取り組みが必要と考えられる。

(佐伯理事)

【公衆衛生部】

- ・ 岡山県の障害者歯科医療提供体制に係る協議

各団体や行政とも認識は持っているが、財政的な問題も含め高次医療体制については、これから協議していく状況。

(小見山副会長)

取材を終えて

(広報部 委員長 石井源久)

今回の理事会は、理事会後に臨時代議員会が開催されるため、およそ1時間半で閉会されたが、代議員会での協議内容等も含めて、いつものように報告・予定・協議とすべてスムーズに行われたように感じた。その中でも確固たる信念の下、会員の矜持と利益を守り抜く姿勢がうかがえた。

理事雑感

(石戸善一郎副会長)

本日、2024年最後の理事会が開催された。今年46回の理事会を通じて、報告事項は866件、行事予定は2,825件、協議事項は476件に達した。時代が急激に変化しており、従来の常識が通用しないことが多く、迷うこともあり、お叱りを受けることもあったが、なんとかこなせたという感じだ。この変化に対応するには、固定概念を打ち破り若いエネルギーを活かし、変化を恐れず柔軟性と適応力を磨き、新しい発想を取り入れなくてはいけないと思っている。何よりも人間の基本である信頼関係を大切に、時代の変化に対応してあと任期6か月、全力で執行部を運営していく覚悟ですので、皆様、引き続きご協力お願いいたします。

よいお年を！

第73回理事会

令和7年1月16日(木)

会長挨拶 (要旨)

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。今年は「乙巳^{きのとみ}」です。変化と成長、患者さん含め周囲の変化・進化をポジティブに柔軟に受け入れていきたい。任期も残り半年です。更なる自覚を持って努めていきたい。役員の先生方にもお願いしたい。

【本会】

- ・理事会のペーパーレス化。会員へ紙で送付する資料は引き続き紙を用いる。 (南専務理事)

【公衆衛生部】

- ・今年度の岡山県歯科保健対策協議会での気になる点としては、県北での虫歯が多いことやフッ化物洗口に対して教育委員会が消極的なこと。 (小見山副会長)

【社会保険部】

- ・「検討委員会のお知らせ」の内容を検討。
- ・ベースアップ評価料の施設基準の届け出が、改定時より簡素化されている点を強調。
- ・「第2回歯科外来・在宅ベースアップ評価料 施設基準届出に関する相談会」を20名の参加される先生と個別相談の形で行う。 (後藤理事)

取材を終えて

(広報部 委員 熊澤孝祐)

本年最初の理事会が行われました。トピックスにも記しましたが、理事会での次第など資料がペーパーレス化されており、時代に沿った形で新たなスタートとなりました。内容も熱く議論され、会長の言葉通り変化を受け入れながら、強い意識をもった理事会全体の気概を感じました。

理事雑感

(田頭一晃常務理事)

本日が令和7年最初の理事会です。12月26日(木)の年末最終の理事会から3週間ぶりの開催となり、報告事項22件、行事予定71件、協議は15題、資料は10種、やはり予想通りの盛沢山でした。

今年最初の社会保険部の事業として、1月19日(日)に「第2回歯科外来・在宅ベースアップ評価料 施設基準届出に関する相談会」を開催させていただきます。第1回目と同様に検討委員が個別で届出書、添付書類作成の説明をし、提出するまでをお手伝いさせていただきます。

今年度は「ベースアップ評価料」算定医療機関を対象とした「医療分野の生産性向上・職場環境改善等による更なる賃上げ等の支援」(支援金18万)があり、今後も算定医療機関を対象とした支援等の実施が予測されます。今回より書類作成が簡素化されております。ぜひこの機会にベースアップ評価料の届出を前向きに検討ください。

ホームページインデックス

最近掲載された項目です

- ①学術部 緊急薬品セット「取扱説明書」について
- ②社会保険部 オンライン請求をされている場合の当座振込通知書等のダウンロードについて
- ③社会保険部 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)のみを算定する場合の専用の届出様式
- ④社会保険部 11月・12月・1月検討委員会からのお知らせ
- ⑤岡山大学病院医療支援歯科治療部 「がん患者を支える医科歯科連携シンポジウム」開催のご案内(一般サイト)

Monthly Dental News Review (246)

2024年

▶12月16日(月)

マイナ保険証 医療費助成の効率化を議論

社保審 医療保険部会で

マイナ保険証1枚で公費負担医療・地方単独医療費助成(こども医療費助成など)のオンライン資格確認も行えるシステムを全国展開する案が、12日の第189回社会保障審議会医療保険部会で厚労省から示された。全国展開の体制構築以後の運用費用については、各助成の実施主体である自治体が負担することを考えており、令和9年度からの実施を想定している。

(略)

同システムの全国展開による医療機関・薬局のメリットとしては、「医療保険の資格情報及び受給者証情報の手動入力の手間をセッテで削減できるとともに、医療費助成の資格を有しているかどうかの確認に係る事務負担を軽減できる」「正確な資格情報に基づき請求を行えるようになるため(資格過誤請求が減少)、医療費の請求に係る事務負担を軽減できる」「マイナ保険証の利用促進を通じて、患者本人の薬剤や診療のデータを把握して医療を提供することができるようになる」があげられている。

▶12月27日(金)

厚労省

歯科衛生士の浸潤麻酔 研修内容の議論を開始

歯科衛生士の浸潤麻酔の研修体制などの整備や、需給問題を取り扱う第1回「歯科衛生士の業務のあり方等に関する検討会」が25日、航空会館ビジネスフォーラム(東京都港区)で開かれた。厚労省から検討の進め方が提示され、問い合わせが増えている局所麻酔行為関係に優先的に検討し、今年度中に意見のとりまとめを目指す旨が確認された。

歯科診療の補助行為として歯科衛生士が行う浸潤麻酔は、法的に規制されるものではなく、数は多くないものの、実際に行われている現状がある。一方で、実施することを想定した卒前教育はなされておらず、安全性を担保する観点からも、教育内容を検討する必要性が指摘されていた。

検討会では、課題への対応として「必要な知識・技術を修得するために求められる具体的な研修内容を示す」との方針案を提示。さらに日本歯科医学会に依頼して作成した具体的な研修内容(事務局案)も示された。

2025年

▶1月7日(火)

令和7年度予算案 歯科関係全体で57億3,200万円

前年度予算よりも36.6%増

厚労省医政局歯科保健課は、歯科保健医療施策全体で57億3,200万円となる令和7年度予算案を昨年12月27日に公表した。6年度予算よりも15億3,700万円、36.6%の増額で、特に病院歯科整備事業、災害時歯科保健医療提供体制整備事業など6年度補正予算での新規事業による増額が目立つ。(詳細は表を参照)

1.2億円増額の「8020運動・口腔保健推進事業」では、都道府県等口腔保健推進事業を一部拡充。歯科保健事業において都道府県・保健所設置市の補助単価を見直し、新規に歯科健診・クリーニング事業も行うようになる。

生涯を通じた歯科健診(いわゆる国民皆歯科健診)環境整備事業では、6年度補正予算による前倒しで1.4億円を確保。歯科健診未受診者などに対して調剤薬局での待ち時間や、商業施設での特定健診などの場を活用して口腔のチェックを行い、受診勧奨するモデル事業を実施する。

▶ 1月10日(金)

日歯会長予備選挙

立候補は現職の高橋氏のみ

無投票で当選, 4月に理事候補提出へ

日本歯科医師会の会長予備選挙への立候補届出が10日に締め切られ、立候補者は現職の高橋英登氏のみだった。役員選挙実施要領第22に基づく理事会決議により、郵送による投票は行われなかったため、実質無投票当選となる。

当選した高橋氏は、自身を含めた理事候補者の名簿を4月14日から16日の期間に選挙管理委員会へ提出。6月の定時代議員会で理事を選任し、代議員会終了後の理事会で会長として正式に選定される。

高橋氏は昨年、立候補の意思を表明する時、「志半ばの部分がある。若い人が目を輝かせて入ってくるような歯科界にしたい」と意気込みを語っていた。

▶ 1月15日(水)

死亡リスク

良い入れ歯使用で低下

約18万の高齢者調査で判明

大阪府の後期高齢者18万6893人から入れ歯の状態と死亡リスクの関連性を調査したところ、奥歯の噛み合わせが悪化するほど死亡リスクが高くなり、さらに状態の悪い入れ歯の使用者や入れ歯を使用していない人は、死亡リスクが最大で1.8倍も高くなることがわかった。

大阪大学歯学部大学院歯学研究科の豆野智昭助教、池邊一典教授、同大キャンパスライフ健康支援・相談センターの山本陵平教授ら研究グループが、大阪府歯科医師会、大阪府後期高齢者医療広域連合の協力のもと、歯が残るパターンを詳細に分けて、大規模調査を実施した。

同調査結果により、奥歯の噛み合わせを守ることや入れ歯の適切なケアやメンテナンスを受けることが、高齢者の健康維持において重要な役割を果たすことが示された。歯科医療と連携した介護支援プログラムの推進のほか、入れ歯の適切な使用や管理に関する啓発活動の基礎資料として、広く活用されると期待がかかっている。

1月の歯科界トピックス

1/17 金パラ告示価格 3月から3,230円/g
歯科用貴金属随時改定で220円/gの
引上げ

1/20 歯周病原菌がインフルエンザ感染を促進
日大歯学部研究チームが解明

1/21 東京都 歯科診療所に15万円
物価高騰対策で支援金

1/22 社保・10月診療分
前年同月比 点数1.4%増、件数1.1%増

1/23 歯科用医薬品の安定供給について
福岡厚労大臣が製造・卸に対応要請

1/24 ベースアップ評価料 歯科診療所の届出
は22%
都道府県別では6.4% (沖縄) から49.0% (徳島)

1/27 24年改定に「不満」が半数超
東京歯科保険医協が会員調査

1/28 歯科医師不足に焦点当て対策示す
M&D医業経営研究所セミナー

第17回 社会保険部検討委員会報告

2024年12月14日(土) 16:00～ 本会会館 7階 702・3会議室

1. 報 告

- (1) 11月 新入会員 なし
- (2) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会 11月25日(月) 13:30 田頭 常務理事
- (3) 大阪歯科大学歯学部同窓会岡山県同窓会社保講習会
12月7日(土) 15:00 ホテルグランヴィア岡山 大島検討委員
- (4) 社保相談窓口報告
- (5) そ の 他

2. 協 議

- (1) 歯科外来・在宅ベースアップ評価料および相談会について
- (2) オンライン資格確認の義務化対象外（紙レセプト請求等）の保険医療機関への対応について
- (3) 「検討委員会からのお知らせ」について
- (4) 「地区歯科医師会からの質問」について
- (5) そ の 他

～検討委員の独り言～

早いもので検討委員になり2期目も1年半が経ちました。前任者からお話をいただいた時、自分でやっていけるのか悩みましたが様々な先生方の支えにより、ここまでやってこれたと思います。

保険点数改定の度に、地区会員の先生方にスライドを用いて説明をさせていただきますが、自分自身も知識を深めるいい機会となります。今後も様々な事例に対応できるよう、日々、研鑽を積み、会員の皆様へより有用な情報を正確に伝えていきたいと思っています。

大嶋 淳（御津歯科医師会）

先日会員から「ベースアップ評価料の明細を見て患者さんから質問があった」という話を聞いた。ベースアップ評価料に関しては導入時から様々な意見があったが、医科などでも大々的に算定され、世間では認知されつつある。しかし患者さんの中には疑問を持つ方もおられる。物価高騰により世間の給与が上昇している中、スタッフの給与をアップさせるための正当な評価料である。理解の薄い患者さんには、優しく説明し理解を得てもらい、この考えを浸透させていくことが必要だと思う。何にせよ今後、ベースアップ評価料がこういった形になっていくのかわからないが・・・。

高木 宏太（岡山市歯科医師会）

特 別 寄 稿

「岡山県の歯の神様、仏様探訪」

【推薦の言葉】

岡山大学病院で長年准教授を勤められ、その後歯科衛生士育成に尽力し、岡山県内の歯科医療に多大な貢献をされた高木先生より、「岡山県の歯の神様、仏様探訪」という随筆をいただきました。大変興味深い内容ですので、会員のみならず多くの方々に御紹介させていただこうと存じます。会報には、「はじめに」の冒頭部分を掲載しますので、全文をお読みになりたい方は二次元コードから、または県歯ホームページからご覧になって下さい。

(常務理事 清水裕雄)

<二次元コード>



元岡山大学歯学部准教授 高木 慎 先生

【生年月日】

昭和 23 年 7 月 25 日

【職歴】

昭和 63 年 4 月岡山大学助教授歯学部（口腔外科学第 1 講座）

平成 13 年 4 月岡山大学助教授大学院医歯学総合研究科

平成 19 年 4 月岡山大学大学院医歯薬学総合研究科准教授（～平成 26 年 3 月）

平成 26 年 4 月学校法人本山学園インターナショナル歯科衛生専門学校長（～平成 29 年 3 月）

平成 29 年 4 月朝日医療大学校歯科衛生学科非常勤講師

令和 4 年 4 月姫路歯科衛生専門学校口腔外科非常勤講師

【学歴・免許】

昭和 48 年 3 月大阪歯科大学卒業

昭和 57 年 7 月岡山大学医学博士

平成 3 年日本口腔外科学会専門医

～平成 28 年口腔外科指導医

【はじめに】

日常、我々歯科医は歯痛に苦しむ患者さんが局所麻酔や天蓋開削により険しい顔がほっと和み安堵する時、仕事のやりがいを感じるものである。

しかし、私は哲西町や吉備中央町円城を訪れた際、たまたま「歯いた地蔵」の看板を見つけたことから、人々は局所麻酔のなかった時代、特別な疼痛の歯痛に対し神仏を拝むしかなかったのではないかと思います。歯の神様、仏様に興味を持った。成田も現代のように歯科学が発達していなかった以前は、人々は歯痛に苦しんだ時、そう簡単に抜くこともできず、神に祈ったり、さまざまの呪いをして耐えたのである。それらを垣間見ると、今でこそ馬鹿らしい、何ら効果もない筈の非科学的なこれらの行為は決して笑うことのできない必死の神頼みであったものと推察されると述べている。また、神津は歯の神様は田の神、屋敷神、白山神社、弥勒菩薩、地藏菩薩、如意輪観音などが歯痛に悩む庶民からおがまれて歯の神様となっていた。これらの神仏は身近にあったからこそ、人々の悩みや願いをきいて、人々と共に存在してきたのであろう。また、医療保険制度の充実とともに疾病はもはや信仰や習俗を必要としない状態にあり、土俗信仰の神々は減じる運命にあるのではないかと述べ、また森も庶民の医療知識の向上、国民皆保険の実施、医療技術の進歩は民間医療信仰や民間薬・俗信を急速に衰退させ、特に歯科領域での民俗は最も急速に消滅しつつあると述べている。そこで、歯の神様、仏様について調べてみると…

(寄稿文より抜粋)

日歯生涯研修セミナー

令和6年12月22日(日)午前9時より、日本歯科医師会主催による生涯研修セミナーが開催されました。「笑顔の溢れる健康長寿を目指して」と題し、「QOL向上のためのトータルヘルスへのアプローチ」として2演題が講演されました。岡山県歯科医師会ではサテライト開催をし、参加者数は12名でした。

< 歯科のあたりまえを見直す：データに基づく最新知見 >

東京科学大学 大学院医歯総合研究科 歯科公衆衛生学分野教授 相田 潤

研究の進展によってエビデンスは変化していくため正しく理解しアップデートしていく必要があるとの話からはじめられ、以下に示す5項目に関して解説されました。

1. 国民皆歯科健診と歯科医療ニーズの新しい考え方

8020の達成者も増加し、児童のう蝕罹患率も減少しているため国民皆歯科健診に対し懐疑的意見を言う識者も見受けられます。しかし世界の疾病負担研究の上位に口腔疾患が上がることで、更にWHO口腔保健レポートによれば、糖尿病、循環器疾患などの重要慢性疾患全数より口腔疾患の方が多いとのデータをまず示されました。そして小学生の病気の中でう蝕は今でも最も多い疾患であり、日本人全体でも3割に未処置のう蝕があるというデータ、高齢者の有歯顎率の増加はう蝕の総数増加を惹起していることを示すデータから国民皆歯科検診はやはり必要だとされました。

2. 「常識」は変わる！？乳幼児への食器の共有とむし歯

食器の共有によってミュータンス菌の親から子への感染が生ずるとの話題があるが、そもそも親子のスキンシップに関して考慮がなく、食器共有への配慮が感染やう蝕予防に関与するというエビデンスは存在しない事、更にミュータンス菌がいなくてもう蝕は発症するとのデータも示されました。

3. う蝕予防へのフッ化物応用とクロルヘキシジンのエビデンス

クロルヘキシジンのう蝕予防効果に関して否定的なのが世界の潮流であり、アナフィラキシーの要因になることもあるため応用は慎重にとのことでした。またフッ素のインプラント患者への応用を否定する説がかつてあったが、歯磨剤中の中性フッ化物では問題なく、高齢者の根面う蝕対策からも推奨されると解説があしました。

4. 口腔と全身の健康格差とライフコースの視点からのアップデート

歯の喪失に伴い栄養の観点からの認知機能低下がよく解説されるが、閉じこもり、友人との交流減少も重要な要素であり考慮する必要があるとされました。また歯の喪失は死亡に至る要因としても大きい事、さらに所得など社会的要素が歯の残存状況に影響する「健康格差」も問題であるとされました。小学生のう蝕発生数に関しても「健康格差」が存在し、学校におけるフッ化物洗口がこの改善に有効的であったこと、そしてこの小学生の時点でのう蝕の発生数は成長後のう蝕発生率にも大きく関与することから重要な取り組みであると解説されました。

5. 定期的な歯科受診を増やすために

仕事のストレスで歯科疾患は増加する。しかし働いている人は忙しくて受診が難しい。産業保健・健

康経営に歯科を取り入れることで子育て中の歯科衛生士が対応できる日中の歯科受診を増やしていくべきではないかと提言をされた。

本講演の中で、「以前に比べてう蝕が減少をしてきた、8020達成者も増えたというデータに注目が行きがちであるが、現在でも小学生にとどまらず国民全員にとってう蝕は最多数を占める疾患であり、歯の残存数の増加、高齢者の増加に伴うう蝕数は減少しておらずむしろ増加している」との解説を聞き、目からウロコが落ちる思いでした。国民皆歯科健診に関して明日からの診療で自信をもって患者へ説明できると思いました。

(委員長 森田巨樹)

<生命予後、健康寿命の延伸に寄与する補綴歯科治療>

大阪歯科大学欠損歯列補綴咬合学講座 主任教授 前川 賢治

現在我が国は未曾有の超高齢社会を迎えている。過去の疫学研究において歯の喪失、残存歯の減少が死亡リスクを高めることが報告されてきた。この「歯の喪失」という現象が全身健康に与える影響を考察するパスウェイとして以下の2つが推測されてきた。

一つは歯周病のように口腔内の慢性炎症が存在することで、歯の喪失の原因となるとともに、低レベルの菌血症が、心血管系疾患や代謝障害を介し死亡リスクを高めるというものである。

もう一つは、歯の喪失の器質的な咀嚼障害により低栄養、過栄養状態となり、全身疾患を発症して死亡につながるというものである。後者に関しては欠損補綴治療によって咀嚼機能の回復ができるため経路を遮断することは可能と考える。これは群馬県草津町で毎年開催されている地域在住高齢者を対象にした健康健診（にっこり健診）の結果を解析することによって明らかになった。残存歯数ではなく、歯を喪失しても補綴治療により、機能歯数を維持して食・栄養状態を維持することが生命予後の延伸には重要で、しっかり食事を噛めていると自覚できていることが生命予後に対してはさらに重要な因子となる。

自立喪失においても同様な結果が得られた。すなわち自立喪失に優位に関連していたのは残存歯数ではなく機能歯数であった。また、多変量解析の結果では、年齢、性別とともに解析した結果、残存歯数の影響は優位ではないものの、機能歯数が少ないことは自立喪失の優位なリスク因子であった。さらに全身疾患の既往やうつ状態、認知機能の低下を加えた時点で機能歯数の影響は減弱したが、このことは支援、介護が必要となる自立喪失という状態には、認知機能の低下の影響の強さを再認識する結果ともいえる。

自立喪失には生命予後とは異なる特徴として、認知機能の低下が強く関与していた。他の研究に目を向けると、咀嚼機能と認知機能の関係が指摘されていたり、残存歯数を維持すること、および咬合力が強いことは認知機能の低下を緩和することができるというものもある。

以上より、現時点で理解できる歯の喪失に対する欠損補綴治療の効果として①機能歯数の減少が生命予後に影響するというエビデンスが集積されつつあること、②歯を失っても、しっかり噛める状態を介した適正な栄養状態の維持が、健康長寿を達成するための基盤となることが証明されつつある。

(副委員長 居樹秀明)

研修会のお知らせ

令和6年度 生涯学習公開セミナー

(公益社団法人 日本補綴歯科学会・一般社団法人 岡山県歯科医師会 共催)

標記セミナーを下記の要領で開催いたします。

万障お繰り合わせの上、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、ホールでの受講に加えZoomによるWeb配信を予定しています。

申込みにつきましては2月号同封の申込用紙にて所定の方法でお申込みください。

日 時：令和7年3月16日(日) 9:30～13:00

会 場：岡山県歯科医師会館 2階 もも丸ホール及びZoomによるWeb配信

テーマ：「栄養摂取」と「美味しい」を守る補綴歯科



演 題：補綴歯科医療が栄養と出会うとき

講 師：窪木 拓男 先生

(岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野)

【事前抄録】

我々は日々補綴歯科治療を行っている。この補綴歯科治療は何のために行っているかと聞かれると、案外簡単に答えるのは難しい。補綴歯科治療は、失われた歯や歯周組織、顎骨を補い、口腔機能のリハビリテーションによって、患者のQOLを向上させると共に、口腔機能を回復することによって、患者の食（栄養）を支援することが目的である。最近では、口腔機能を回復することが、毎食後に内服する薬の様に、全身健康に影響が及ぶことが知られる様になり、介護予防、フレイル予防、認知機能低下予防に及ぼす影響が認識されるようになった。また、このような効果は、栄養摂取の向上により摂食・嚥下機能や免疫機能の回復にも影響があり、誤嚥性肺炎の予防や生命予後にも良い影響があることが知られる様になった。

この様な我々の行う口腔栄養関連サービスが栄養摂取状況の改善を介して、様々な良い影響を及ぼすことが明らかになると、我々補綴歯科専門医が活躍する場所は大きく広がることになった。超急性期病院やがん医療における周術期管理や感染管理、回復期や維持期病院、介護施設や在宅・介護現場におい

る摂食・嚥下リハビリテーション，口腔栄養関連サービスは，我々補綴歯科専門医が社会に貢献するあり方を大きく変えつつある。

本講演では，このような補綴歯科専門医に関わるべき医療現場の状況を概説するとともに，これらの現場に関わるべき人材を輩出するための多職種連携教育にも言及してみたい。



演 題：医療介護現場で困っている人のための補綴歯科治療

講 師：吉川 峰加 先生

(広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学)

【事前抄録】

令和6年度診療報酬改定は介護報酬および障害福祉サービス等報酬の3つが同時改定される，いわゆる「トリプル改定」となった。栄養関連においては，いつも以上に多くの栄養関連項目が評価され，病院内外における「リハビリー栄養管理ー口腔管理」の推進を中心とする多職種および同職種間での連携推進や，包摂的社会実現へ向けてのGLIM基準をはじめとする「標準的」な栄養管理の推進が重要なポイントとなっている。今後は在宅療養の患者への対応も含めて，このポイントは重要度が増していくと予想される（公益社団法人日本栄養士会ホームページより）。

補綴歯科治療はこの「口腔管理」で大きく貢献可能である。元気な高齢者や外来患者に対するサルコペニアやフレイルの予防や改善はもちろんのこと，急性期病院やリハビリテーション病院，維持期／慢性期病院，在宅医療，介護サービスなどさまざまなシチュエーションで，医原性サルコペニアや廃用症候群などによる摂食嚥下障害の予防・改善に対して，多職種によるチームアプローチがリハビリテーション栄養の成功の鍵となり，歯科，とくに補綴歯科はその知識と技術によって，多くの臨床現場の困った人たち（患者もチームメンバーも）をかなり強力にバックアップができる。

本講演では，さまざまな医療・介護現場において，補綴歯科が多職種と連携しながらその能力をあますところなく発揮できるような体制づくりについてお話ししたい。

※日歯生涯研修事業カードをご持参ください。

令和6年度岡山県歯科保健優良校(園)表彰並びに 岡山県歯科保健図画ポスターコンクール表彰式



令和6年12月14日(土)に標記表彰式が岡山県歯科医師会館において開催されました。初めに西岡宏樹会長より「将来の日本を支える子どもたちが健やかに生きる力を育んでいく環境を整えることは社会の責務であり、本会としてもしっかりサポートしていきたい」との挨拶がありました。続いて岡山県学校保健会 松山正春会長、岡山県教育庁保健体育課 片岡敏行課長からご祝辞を賜りました。

図画ポスターコンクールでは岡山県下35校の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から483点の応募があり、特選10点、入選25点、佳作13点が選出されました。また、優良校(園)表彰では幼稚園1園、小学校4校、中学校1校が表彰されました。審査の概要については歯科保健図画ポスターコンクールの審査にご協力いただいている倉敷市立短期大学保育学科 児玉太一准教授より「どの作品も躍動感があり、心を込めて背景まで丁寧に書かれている」との感想があり、その上で特選を受賞した作品を1点ずつスクリーンに映写しながら選出に至ったポイントを丁寧にコメントしていただきました。子どもたちにとっては忘れられない思い出になったのではないかと思います。歯科保健優良校(園)の審査の概要は柴田 宏審査委員長より説明があり、う蝕や歯肉炎の罹患率や学校での歯科保健活動の内容や継続性について総合的に判断したとの説明がありました。その後、図画ポスター、優良校と表彰が行われ、幼稚園児や小学校低学年の子どもたちも上手にお礼をしながら賞状を受け取っていたのがとても印象的でした。

最近ではコロナ禍という言葉も耳にすることが少なくなり、学校歯科保健活動も再開していると思いますが、是非とも活動内容を表彰調査票に記入していただき応募いただければと思います。

(理事 土肥範勝)



岡山県歯科保健図画ポスターコンクール

	学 校 名	学 年	氏 名
特 選	新見市立哲西認定こども園		山 本 桜 愛
	新 見 市 立 矢 神 小 学 校	1	高 田 崇 佑
	倉敷市立第五福田小学校	2	漆 谷 秀 仁
	倉 敷 市 立 大 高 小 学 校	3	土 山 睦 輝
	倉 敷 市 立 老 松 小 学 校	4	宇 野 葵
	岡山県立岡山聾学校小学部	5	岡 本 結 菜
	岡 山 市 立 津 島 小 学 校	5	池 田 智恵子
	小田郡矢掛町立矢掛小学校	6	守 屋 くるみ
	岡 山 市 立 福 南 中 学 校	2	近 藤 碧
	岡 山 県 立 総 社 高 等 学 校	2	長谷川 奨

岡山県歯科保健優良校（園）

	学 校 名
岡山県歯科保健優良校教育長表彰	瀬戸内市立邑久小学校
岡山県特選歯科保健優良校表彰	赤磐市立磐梨小学校 倉敷市立南中学校
岡山県特別歯科保健優良園表彰	和気町立佐伯にこにこ園
岡山県歯科保健優良校表彰	岡山市立御津南小学校 岡山市立五城小学校 瀬戸内市立邑久小学校

医療管理ニュース Vol.100

《どうしよう!? 外国人旅行者が受付に!!!》

コロナ禍も落ち着き海外からの訪日旅行者は過去最多となる見込みです。

外国人旅行者が急患で来院した場合どのような対応をすればよいのでしょうか？

厚生労働省のホームページに詳細が掲載されていますので簡単に紹介します。

★海外からお越しの患者さんへ受付で行う8つのチェックポイント★

1. 言語を確認

- ・患者さんとコミュニケーション出来る言語を確認しましょう！

2. 来院目的を確認

- ・来院目的を確認しましょう！

3. 診療申込書を記載してもらう

- ・多言語の診療申込書を準備し、しっかり記入してもらいましょう！

右のQRコードから参考資料が閲覧できます。



4. 本人確認

- ・パスポートの提示をお願いして本人確認を行い、必要な情報を正確に得ましょう！

5. 医療費の目安を伝える

- ・治療前に医療費の概算見積もりを提示しましょう！

6. 支払方法を確認

- ・自医院で可能な支払いについて説明し、どのような方法で支払うのか確認します！

7. 医療費に関する要望を確認！

- ・患者さんの医療費に関する要望を確認、把握しましょう！

8. もう一度チェック

- ・これまでのステップに関して、もう一度確認しましょう！

訪日外国人の増加に伴い、医療機関を受診した訪日外国人の未払い問題が増えてきているようです。

上記のポイントを押さえておくことで未払いの予防にも役立ちます。

厚生労働省において『訪日外国人受診者医療費未払情報システム』を用いて、医療機関より一定額以上の未払いの経歴がある訪日外国人の情報を収集し、再び日本を訪れた際の入国審査に活用されています。この目的は訪日外国人への周知を通じて、訪日外国人受診者による医療費の未払いの発生の抑止力とすることです。

＜本システムへの医療機関からの登録と未収金登録までの流れ＞

- ①まず初めにシステムへの医療機関登録をします。
- ②訪日外国人が受診した際には、パスポート情報を取得します。
- ③未収金が発生したら、システムへ未収金情報を登録します。

訪日外国人受診者による医療費未払い防止のための支援資料及び未払い情報報告システムの詳細は厚生労働省HPへアクセス！

厚労省 訪日外国人 未払い

検索



(中田浩昌)

井原歯科医師会

井原通信

今回は井原市についてご紹介させていただきます。井原市は江戸時代初期(1681年～)くらいから綿花栽培、手紬・手織りで衣服を作り、藍の栽培もするようになり、厚地藍染織物を生産するようになりました。時を経て昭和35年(1960年)この厚地織物の生産・縫製技術を生かし、デニム地・ジーンズ生産が始まり、国産ジーンズ発祥の地と呼ばれています。昭和45年ころには国内の75%のシェアを占めていました。現在は最盛期と比べて衰退してはいますが、品質の高さから欧米の最高級ブランドなどで井原のデニムが採用されています。あるデザイナーから聞いた話ですが、岡山県内でも井原を知らない人がいらっしゃるようです。イタリアのバイヤーなどには、「井原＝デニムの町」と認識されていて、海外では井原という町はよく知られているそうです。

そんな井原の町に1軒、酒蔵があります。文化元年創業で221年に渡り伝統的に和釜を使って日本酒を作ってきた山成酒造という酒蔵です。昨年、国の登録有形文化財に建物が登録されました。この山成酒造の日本酒を愛飲していたのが、
阪谷 朗廬、渋沢 栄一、谷崎 潤一郎といった方々です。

毎年3月の最後の日曜日に「新酒まつり」が開催され、試飲や新酒を買い求めることができます。昨年は、井原さくらまつりと開催が同じ日でしたので、井原駅から無料のシャトルバスも出て大変にぎわっていました。私のおすすめは「蘭の誉 あらばしり」、「桜溪」です。「蘭の誉 あらばしり」は濃厚で香りもよく、辛



口の白ワインのような感じです。「桜溪」は、地元の酒米で醸した地域の魅力が現れる酒を醸したいという酒蔵の想いに地元の米農家が応えてくださり、栽培が困難といわれる「雄町」の栽培に成功。その米を60%精白し、和釜で最適に蒸しあげて醸した純米吟醸の原酒で、ロックで飲むとキレがあり、すっきりとした味の中にも雄町特有の酸味が効いた独特の味に仕上がっています。

また、山成酒造から車で5分くらいのところに「芳泉庵」というお蕎麦屋さんがあります。古民家を改築し、ご夫婦でやっておられます。雰囲気もよく、こちらのお蕎麦も非常に美味しくておすすめです。BGMはユーミンですが。あと、田中美術館前の「笠北」というラーメン屋もお勧めです。頑固おやじが作る盛り付けから美しい美味しい笠岡ラーメン。毎日、行列が絶えません。飲食業界不毛の地であった井原も今は、お勧めできるお店ができました。春には井原堤に桜が咲き誇り、非常に綺麗です。秋には、天神峡の紅葉もなかなかのものです。皆さま、機会がありましたら、立ち寄ってみてください。

(モニター 三宅秀典)

勝英歯科医師会

第17回 みまさか子どもフェスティバル



12月14日(土)美作市主催で、「第17回みまさか子どもフェスティバル」が美作文化センターにて行われました。岡山県警察音楽隊によるクリスマスコンサートとサンタクロースからのお菓子のクリスマスプレゼント、そして勝英歯科医師会より歯ブラシのプレゼントをさせていただきました。美作市主任児童委員部会の主任児童委員からの「しっかり歯磨きして歯も歯ブラシも大切に使いましょう」という声かけに、子ども達はもとより、保護者の皆様にも大変喜んで頂きました。会場は多くの子ども達からのたくさんの笑顔と『ありがとう』の声に包まれ、楽しいパーティになりました。

この活動で、子ども達への虫歯予防への啓発はもちろんの事、我が子の歯ブラシにまで気を配る余裕の無いご家庭の子ども達にも、新しい歯ブラシを届ける事ができました。

県内では最低でも中学生までの医療が無償化になっている現在であっても、ひとり親、物価高騰など親の経済状態で、歯科に連れて行くことが困難な状況の家庭は、少数ではあれど存在しています。また県北の勝英地域では歯科医院も偏在していて、予防医療の受けられる環境も県南に比べればやや劣っています。そのような子どもの環境に目を向けて、今後も健康を見守る活動を開催、そして支援していきたいと思います。

(モニター 伊藤美知子)



津山歯科医師会

令和7年新年互礼会

令和7年1月9日(木)、津山歯科医師会は新年互礼会を開催しました。うっすらと積雪があった寒い日にもかかわらず多くの来賓の方々をお迎えして、華やかな新年互礼会となりました。

平会長の挨拶では、昨年1日の能登半島地震、9月の豪雨災害と石川県の惨状にふれられ「今後南海トラフ地震が発生した場合には岡山県では県北の津山市が災害救助の拠点となる可能性があるので十分な構えと備えが必要である」と指摘されました。また「現執行部の任期があと半年となり、津山歯科医師会が大切にしてきた『和を以て貴しとなす』の精神をこれからも引き継いでいていただきたい」と述べられました。

来賓の方々からのご挨拶いただきました。

岡山県歯科医師会 西岡会長からは「2期目ということで常に澁むことなく流れを意識して会を運営してきた」という言葉とともに三つのことを掲げられました。1. 会員が会員たることの意義, 2. 本会と連盟の組織力を高める, 3. 歯科医療を通して公益に資する, 特に2に関しては「歯科医療には政治力が欠かせない。組織率100%を目指したい」と力強い発言がありました。

また、「日本学校歯科医会の会員増強をお願いします」とも述べられました。

岡山県歯科医師連盟 小見山会長からは7月の参議院選挙に関して「国会の場に山田氏と比嘉氏の二人にいてもらわなくてはならないのでよろしくお願いします」と協力の要請がありました。

懇親会では各テーブルを回られる先生も多く、美味しい料理をいただきながら楽しい会話がはずみ、あっという間の2時間が過ぎました。

終了時には外は一面の雪景色に代わっており津山の新年らしい互礼会でした。

あいにくインフルエンザ、コロナと感染症が猛威をふるっている時期と重なったにもかかわらず、遠方よりご参加くださいました先生方には心より御礼申し上げます。

(モニター 藤田元英)



吉備歯科医師会

新 年 会



令和7年1月18日(土)午後7時より前田料理店にて新年会が開催されました。来賓として加藤勝信財務大臣，片岡聡一総社市長，石戸善一郎県歯副会長，久門田俊治県歯理事，小見山 信連盟会長，平 滋之連盟副会長のご出席を賜りました。

今回は今中総務担当理事の司会進行で行われ，水川会長の新年挨拶，来賓祝辞に続き遠藤先生の乾杯のご発声のあとは無礼講！久しぶりの宴会に飲んで食べて笑っておしゃべりしてと楽しいひと時を皆さん大いに満喫されておられました。あっという間に時間は経ち，最後は植村副会長の締めのご挨拶にてお開き。飲み足りない面々は送迎バスに揺られて二次会会場に向かいました。

最後になりましたが公私ともにお忙しい中をご参集いただいた来賓の方々にはこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。今年も吉備歯科医師会をよろしくお願いいたします。

(モニター 亀山達弘)

ゲゲゲのゲ～

岡山市歯科医師会 樋口 譲

リレー随筆3回目岡山市歯科医師会の樋口 譲です。

1回目は歯科医師会入会直後、大学同期の友人たちとのプチ同窓会。2回目は2018年、院内で行ったコミュニケーションの勉強会について。ついこの間原稿を書いたと思っていましたが時の経つのは早いものですね。

さて、私には小学校1年生の娘がいます。保育園時代はアンパンマンやプリキュア、すみっコぐらしに夢中になっていました。そんな娘が今、妖怪と都市伝説に夢中になっています。両親や祖父母、誰も教えていない、学校で流行っているわけでもないのに急に。情報収集は学校の図書館の本やYouTube



など。借りてくる本は妖怪がほとんど。YouTubeの視聴履歴も妖怪もののばかり。自宅にも怖めのイラストの妖怪本が増えてきました。いろいろと妖怪や都市伝説を学んで、

「パパ、口裂け女に会った時はね…」

と、いろんな妖怪に出会った時の対処法を教えてください。

でも大丈夫、パパは口裂け女に会うことはないと思うから…
たぶん…

そんな妖怪好きな娘のために去年は家族旅行で兵庫県神崎郡福崎町と鳥取県境港市に行ってきました。

福崎町は姫路市の北側に位置し、民俗学者の柳田國男さんの出生地になります。20年以上前、姫路市の北部、すぐ近くの病院歯科に勤務していましたが全く知りませんでした。ここには河童のガジロウという妖怪の伝承があり、街のいたるところに等身大の妖怪が鎮座しています。昔ながらの姿の河童や雪女だけでなく、現代風にスマホで自撮りをする鬼や携帯ゲームに興じる小豆洗いなど、ユニークな姿の妖怪がいっぱいです。妖怪のいる範囲が広く、徒歩での散策は大変ですので車やレンタルサイクルをおすすめします。

境港市はゲゲゲの鬼太郎の生みの親、水木しげるさんの出生地。こちらも多く妖怪が待ち構えています。境港駅から水木しげる記念館までの道路脇に待ち構える、178体の妖怪+水木しげるさんのブロンズ像は圧巻です。JR境港線の各駅では鬼太郎やネズミ男など、妖怪の名前がつけられており、境港に到着するまで気分を盛り上げてくれます。よく知っている有名妖怪からマイナーな妖怪まで、それぞれの性質、成り立ちの説明を時間を忘れて調べてしまいます。

妖怪で盛り上がる2つの街。町おこしの成功例とはこういうことなんだなと思いました。

カメラ片手に写真を取りまくる娘を引き連れ、次はどこの街の妖怪スポットに行くか思案中の毎日です。願わくば心霊スポットに行きたいなどと言いつけないように…

次回は 樋口 将 先生（高梁歯科医師会）をご紹介します。

65期3年生と看護学生との「多職種連携実習」

12月11日(水)学院3年生(65期)が看護保健論の授業で、岡山済生会看護専門学校の3年生70名の看護学生と「多職種連携実習」を行いました。今回が初めての取り組みで、当日は岡山済生会看護専門学校に出向き、看護学生と合同で演習を行い、それぞれの専門性について理解を深めました。内容は「麻痺・嚥下障害のある高齢者」という対象者設定に基づき、1)看護学生による歯科衛生士への観察技術の指導として、①バイタルサインの測定方法 ②測定時の対応・配慮のポイントについて、2)歯科衛生学生による看護学生への口腔ケアの指導では、①高齢者の口腔の特徴と観察ポイント ②義歯の取り扱いと管理方法 ③嚥下障害のある高齢者に対する安全な口腔ケアの方法 ④口腔清掃用具の説明と使い方、管理方法について、それぞれの職種の専門的な視点からお互いに指導を行いました。その後、「互いの専門性をどのように感じたか」「職種間の連携についてどのように考えるか」というテーマでグループワーク、発表を行いました。学生からは、「歯科衛生学生と看護学生とでは観る視点が違ったので、互いの専門性を共有して多職種と連携することの大切さを感じた」「それぞれの得意分野を活かして連携することで、患者のより良い生活をサポートできると感じた」という発言がありました。また、それぞれに「異常時にはバイタルサインの観察ができ、口腔内だけでなく全身をみることができる歯科衛生士」「口腔ケアの正しい知識・技術を身につけ、誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上ができる看護師」という目標ができたようです。専門職の役割を理解し、連携、協働の大切さについて深く学ぶことができた有意義な実習となりました。多くの専門職が協働して、患者の状態に応じてそれぞれの専門知識・技術を活用し、最善の内容・方法で支援を行う多職種によるチーム医療が重要視されている中、学生のうちにこのような実習を行えたことは、彼女たちにとって貴重な体験となり、自信となりました。今後も、ブラッシュアップしながら「多職種連携実習」を継続して行っていきたいと思っています。



(教務主任 有田泰子)

65期 3 年生 臨床実習を終えて

65期 3 年生は令和 6 年 4 月～11 月末日まで、臨床実習へ行かせていただきました。2 年次と 3 年次の臨床実習を通じて、初めは緊張と技術不足に不安を感じていましたが、出来ることが増えるにつれて、表情も明るく意欲をもって臨床実習へ臨んでいました。臨床実習で学ばせていただいたことを活かし、臨床の現場で活躍する歯科衛生士になってもらいたいと思います。

ご協力くださいました臨床実習医院の先生ならびにスタッフの方々に心より感謝申し上げます。

今後とも歯科衛生士学生の教育にご尽力いただけますと幸甚に存じます。

(専任教員 大島詩織)

岡山歯科技工専門学院の先生に講義に来ていただきました



12月10日(火)に岡山歯科技工専門学院から教務主任の湯浅先生に来ていただき、学院 3 年生 (65 期) へ歯科技工士の仕事や CAD/CAM について特別講義をしていただきました。国家試験の出題ポイントや、歯科技工士から歯科衛生士へのアドバイスとして、印象への石膏注入の仕方なども教えていただき、学生は春から歯科衛生士として働くことをイメージしながら一生懸命メモを取っていました。両学院では、同じ歯科のチームで働く職業人

を養成する教育機関として、知識や技術面でも共通することが多くあり、この講義をきっかけに、今後、歯科衛生士・歯科技工士の学生が学生の内からチームとして取り組める活動を企画できればと思いました。また、国家試験合格目指して頑張る両学院の学生をサポートできるよう協力していければと思います。

(教務主任 有田泰子)

66期 2 年生 岡山大学病院実習

66期 2 年生は、令和 6 年 11 月 15 日(金)～12 月 3 日(火)まで岡山大学病院実習を行いました。

昨年度までは 1 人 1 日で 2 つの診療科で実習させていただきましたが、今年度からは、1 人 4 日間で 7 つの診療科とチーム医療を見学・実習させていただきました。学生は緊張しながらも大学病院でしか見ることのできない症例、それぞれの診療科の特性や患者への対応など学ぶことができました。チーム医療では、歯科医師や歯科衛生士だけではなく、さまざまな職種の方と連携しながら患者さんへサポートを行っているところを見学し、多職種連携の意義やチーム医療における歯科衛生士の役割を学びました。岡山大学病院実習を通じて学んだことを、学院生活や臨床実習へも活かしてもらいたいと思います。

(専任教員 大島詩織)

新入会の正会員の先生を紹介するコーナー

新人です…よろしくお願いします。

むら き しゅんすけ
村木 駿介



吉備歯科医師会

医療法人 むらき歯科医院

〒719-1156 総社市門田364-12

TEL 0866-93-9876 FAX 0866-93-9878

生年月日 平成2年11月27日（34歳）

出身大学 徳島大学歯学部

経歴・職歴

2016年3月 徳島大学歯学部 卒業

4月 岡山大学歯学部卒後臨床研修センター 入局

2017年3月 岡山大学歯学部卒後臨床研修センター 修了

4月 医療法人社団翔志会たけち歯科クリニック 勤務

2023年1月 医療法人むらき歯科医院 勤務

現在に至る

入会日

令和6年11月12日

趣味

ボクシング

抱負

現在も技術研鑽のため、京都府のクリニックにも非常勤で勤務しております。

学んできたことを活かし、地域社会へ貢献できたらと思います。

まだまだ未熟ではございますが宜しくお願い申し上げます。

※こちら編集室※

「お便り」

熊
澤

孝祐

息子の通う小学校の校長先生から毎月保護者宛に届くお便りがあります。読むと自分の心に響く事が多く、毎月楽しみにしています。普段からの言葉使いや思いなどが文章にも伝わるんだなと大変勉強になります。広報部においても、会員の先生方により良く伝わるよう努めていきたいと思いました。

今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



訃

報



故 河上 直樹 先生

享年88才（令和6年12月28日 ご逝去）

小田郡矢掛町矢掛3040-4

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

会 員 異 動

12月末日現在 正会員数1,036名

◎新入会（詳細は新入会員の紹介で）

村木 駿介 正会員 吉 備 P49

◎診療所の名称変更

飯田 哲夫 正会員 真 庭 P58

飯田 雄太 正会員 真 庭 P58

[新]（診）飯田歯科本院

◎死亡

河上 直樹 正会員 笠岡・小田 P51

（P = 会員名簿のページ）

2月の収納金

1. 本 会

(1) 診療報酬割会費（社保、国保11月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{28}{1000}$ を控除）

2. 全国歯科医師国保組合

(1) 収入割、均等割保険料調定額

(2) 収入割保険料（令和5年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$ ）

3. 日本歯科医師会

(1) 年金保険料（3月分）

(2) 福祉共済保険料（3月分）

12月 会の動き

2日	第57回 岡山県がん診療連携協議会 (Web) 広報部編集委員会 (集稿)		
3日	公益財団法人岡山県スポーツ協会加盟競技 団体交流会	16日	支払基金 審査運営協議会
4日	日本歯科医師会 第4回医療管理委員会 日本歯科医師会 第2回役員報酬算定審議会 岡山市歯科医師会忘年会 国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合 第6回三役会	17日	社会保険部研修会
5日	理事会	18日	広報部編集委員会 (二校) 医療管理部正・副委員長会
6日	学術部正・副委員長会 社会保険部小委員会 摂食嚥下初級コース事業報告会	19日	理事会
7日	大阪歯科大学歯学部同窓会岡山県同窓会社 保講習会	20日	第1回 岡山県医療費適正化推進協議会 令和6年度第1回岡山県自立支援協議会医 療的ケア児等支援部会
8日	令和6年度災害歯科保健医療アドバンス研 修会	21日	都窪歯科医師会忘年会
9日	2024年度 岡山大学歯学部教授会忘年会	22日	日歯 生涯研修セミナー サテライト
10日	総務部調査事業部会委員会・情報管理部会 社会保険部小委員会	23日	令和6年度第1回岡山産業保健総合支援セ ンター運営協議会 令和6年度 岡山県循環器病対策推進協議会 広報部編集委員会 (終校)
11日	広報部編集委員会 (初校) 玉島歯科医師会「救急蘇生講習会」 選挙管理委員会	25日	中国地方社会保険医療協議会岡山部会 第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート 競技会, アイスホッケー競技会打合せ 社会保険部小委員会
12日	障害者歯科診療打合せ 理事会	26日	障害者歯科医療提供体制に係る協議 公益財団法人岡山県スポーツ協会 競技間交 流会打合せ 理事会 第197回 臨時代議員会
14日	岡山県歯科保健優良校等表彰式 審査・検討小委員会 社会保険部検討委員会	27日	医療管理部小委員会
		29日	事務局年末・年始休業 (～1月3日)

2月・3月 本会の予定

2月1日	第79回国民スポーツ大会冬季大会ス ケート競技会 (ショートトラック・ フィギュア・アイスホッケー競技会 (～5日 岡山国際スケートリンク, ヘルスピア倉敷アイスアリーナ)	審査・検討小委員会 社会保険部検討委員会 令和6年度訪問歯科研修会 (会場+ Web) 令和6年度歯科医療安全研修会打合せ
------	--	---

- | | |
|--|---|
| 学院 新入生制服採寸 | 17日 支払基金 審査運営協議会 |
| 2日 令和6年度歯科医療安全研修会（会場+Web） | 18日 共済事業部会幹事会・委員会
日本歯科医学会第114回評議員会 |
| 4日 広報部編集委員会（集稿）
岡山県フッ化物洗口支援事業 連絡会議 | 19日 令和6年度都道府県歯科医師会医療管理・医療安全担当理事連絡協議会及び医療安全研修会
広報部編集委員会（二校）
国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合 第5回理事会 |
| 5日 令和6年度JDATロジスティクス基礎研修会
国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合 第7回三役会，常務会 | 20日 令和6年度 第2回岡山県国民健康保険運営協議会
SCOグループと面会
理事会 |
| 6日 理事会 | 22日 監事会
予算・決算特別委員会 |
| 7日 令和6年度第2回岡山県医療対策協議会
会新たな財政支援制度検討部会
三師会（医・歯・薬）会長会議
学院 第2回学院関係者評価委員会
学院 第2回学院運営協議会 | 24日 令和6年度第2回競技間交流事業 |
| 8日 ハラスメント防止セミナー「これってもしかしてハラスメント？」 | 25日 中国地方社会保険医療協議会岡山部会
岡山県医療審議会（医療法人部会） |
| 9日 厚生部文化事業部会レクリエーション「ファミリースキー・スノーボードツアー」（だいせんホワイトリゾート） | 26日 令和6年度歯科医師認知症対応力向上研修会（会場+Web）
広報部編集委員会（終校）
医療管理部正・副委員長会 |
| 10日 総務部調査事業部会委員会・情報管理部会（Web） | 27日 第40回中規模県歯科医師会連合会
岡山県糖尿病医療連携体制検討会議及び岡山県糖尿病対策専門会議 |
| 11日 第22回「岡山地域医療構想・包括ケアシステム研究会」「岡山県医師会地域包括ケア部会」 | 28日 第139回都道府県会長会議 |
| 12日 8020推進財団理事会
日本学校歯科医会加盟団体長会
吉備歯科医師会「救急蘇生講習会」 | 3月1日 審査・検討小委員会
社会保険部検討委員会
新入会員社保研修会 |
| 13日 健康おかやま21推進会議
岡山県国民健康保険団体連合会理事会
理事会
広報部編集委員会（初校） | 2日 第9回おかやまスポーツフェスティバル |
| 14日 令和6年度都道府県歯科医師会地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会 | 4日 広報部編集委員会（集稿） |
| 15日 学院 一般入試B日程 | 6日 理事会 |
| 16日 厚生部文化事業部会レクリエーション「麻雀」 | 9日 「令和6年度在宅医療関連調査・講師人材養成事業」におけるグループワーク研修
日本歯科医師会「嚥下機能評価研修会～嚥下内視鏡検査実習～」 |

13日 令和6年度 岡山県認知症対策連携会
議
広報部編集委員会（初校）
日本歯科医師会第204回臨時代議員会
（～14日）
16日 日本補綴歯科学会 令和6年度生涯学
習セミナー
17日 支払基金 審査運営協議

医療審議会（医療法人部会）
19日 日本学校歯科医会第112回臨時代議員
会
広報部編集委員会（二校）
25日 中国地方社会保険医療協議会岡山部会
広報部編集委員会（終校）
27日 理事会
30日 第198回臨時代議員会

2月・3月 地区歯科医師会の予定

2月 3日 倉敷 監査会
6日 岡山市 四役会
津山 定例会
倉敷 センター慰労会
7日 児島 理事会
8日 和気 総会・新年会
9日 岡山市 技工学院第五次入試
吉備 グルメ同好会（大阪）
10日 笠岡・小田 電子理事会
11日 倉敷 第25回介護保険セミナー
12日 玉野市 理事会
吉備 医療管理セミナー
14日 岡山市 理事会
15日 笠岡・小田 総会
17日 倉敷 定例理事会
18日 津山 理事会
真庭 第5回理事会
20日 勝英 定例会
21日 都窪 理事会
27日 倉敷 令和6年度臨時総会
28日 岡山市 理事会
都窪 定例会

3月 2日 岡山市 技工学院第50回卒業式
倉敷 令和6年度医療管理セミナー

吉備 食と環境フェア（高松公民館）
6日 岡山市 四役会
津山 定例会、臨時総会
7日 児島 理事会
都窪 理事会
吉備 理事会
8日 児島 学術講演会
12日 玉野市 理事会
瀬戸内市 臨時総会
13日 倉敷 障がい者歯科コンサルテーシ
ョン
14日 岡山市 理事会
倉敷 倉敷市内歯科医師会協議会
16日 津山 ふるさと探訪
17日 児島 総会
18日 真庭 社保定期伝達講習会
20日 倉敷 倉敷医師会・倉敷歯科医師会
親睦ゴルフ大会
21日 都窪 臨時総会
25日 津山 理事会
26日 岡山市 臨時代議員会
吉備 臨時総会
27日 赤磐 総会
28日 岡山市 理事会
倉敷 定例理事会

タマキは診療現場における最新の商品や
情報のご提供を通して歯科医療のご発展に貢献いたします。

お客様の満足がタマキの最大の願いです。

株式会社玉井歯科商店

松山店 〒790-0011 松山市千舟町 8-67-8
TEL 089(941)1619 FAX 089(921)4344
高松店 〒760-0073 高松市栗林町 3-4-1
TEL 087(831)4491 FAX 087(833)9222
徳島店 〒770-0006 徳島市北矢三町 2-2-8
TEL 088(633)6250 FAX 088(633)6307
下関店 〒751-0875 下関市秋根本町 1-5-33
TEL 083(256)0330 FAX 083(256)0880
徳山店 〒745-0071 周南市岐山通 2-21
TEL 0834(21)0400 FAX 0834(32)4346
広島店 〒734-0014 広島市南区宇品西 3-1-14
TEL 082(251)1911 FAX 082(251)1922

福山店 〒720-0805 福山市御門町 2-4-37
TEL 084(923)5867 FAX 084(923)5874
岡山店 〒700-0925 岡山市北区大元上町 12-19
TEL 086(244)3429 FAX 086(244)3489
松江店 〒690-0015 松江市上乃木 3-17-47
TEL 0852(27)1916 FAX 0852(27)1972
鳥取営業所 〒680-0864 鳥取市吉成 239-3
TEL 0857(22)2701 FAX 0857(22)2731

<http://www.tamadent.com>



損保ジャパン
SOMPO Innovation for Wellbeing



先の見えない激変の時代に、誰かのために。やり抜くために。唯一の存在になるために。
損保ジャパンは、ホッケー日本代表の支援を通して
夢へ挑む素晴らしさや仲間を信じる力が生み出す感動を、幅広い世代へ届け続けます。
攻めるだけでも守るだけでも切り拓けない未来を目指して。さあ、一丸になれ。

損害保険ジャパン株式会社 岡山支店 法人支社
〒700-0913 岡山県岡山市北区大供1-2-10
<https://www.sompo-japan.co.jp/>

令和7年2月1日発行(毎月1日発行)
昭和42年4月3日 第三種郵便物認可

岡歯会報

2月号

通巻第九三七号

定価一〇〇円

発行人 西岡 宏樹

発行所

岡山市北区石関町一丁目五
一般社団法人 岡山県歯科医師会(購読料は年会
費に含まれる)

